

# **Cariot Ver2.19 リリースノート**

- (1) エリア：拠点の表示方法の最適化
- (2) ルート：編集画面から取引先へ遷移
- (3) [P060\_滞在記録] レポートに「所要時間」と「開始」の項目を追加
  
- (補足)アップグレードに失敗する場合の対応方法
  - \* 特定の環境で、アップグレードが失敗する場合がございますので、その際にご利用ください。

# (1) エリア：拠点の表示方法の最適化 (1/3) Cariot

## ■ 課題 (要望)

- エリア画面で多くの拠点を登録している場合に、地図の表示が見えづらい
- 拠点が密集していると、拠点名が重なってしまい見づらく操作が重くなる

## ■ 改善点 (対応内容)

- エリア画面での拠点の表示方法を見直し、拠点が密集している場合は、グルーピングして件数だけを表示するように変更しました。
- 拠点名の表示／非表示を切り替えることができるように変更しました。

### 変更前



### 変更後



拠点が密集している場合は、グルーピングして件数だけを表示

\* 表示方法の設定は次のページに記載しております

# (1) エリア：拠点の表示方法の最適化 (2/3) Cariot

拠点の表示方法は、[表示設定] タブから切り替えられることができます。  
(設定内容はブラウザに保存されます)

The image shows the Cariot application interface with a settings menu open. The settings menu includes options for map display, terrain, traffic, and point display. Three options are highlighted with colored boxes and arrows pointing to a detailed map view:

- Red box:**  拠点の位置をアイコンで表示 (Display point locations with icons)
- Blue box:**  拠点名を表示 (Display point names)
- Green box:**  密集した拠点はグルーピングして表示する (Group and display dense points)

The detailed map view shows a zoomed-in area with several points. Callouts indicate:

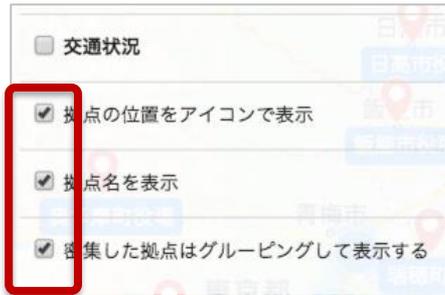
- Red callout:** アイコンの表示/非表示 (Icon display/non-display)
- Blue callout:** 拠点名の表示/非表示 (Point name display/non-display)

Below the main map, a green callout reads: 複数拠点の表示方法の切り替え (Switching display methods for multiple points). This is illustrated by two side-by-side map snippets connected by a double-headed arrow. The left snippet shows points grouped into numbered circles (3, 4), while the right snippet shows the same points as individual red location pins.

# (1) エリア：拠点の表示方法の最適化 (3/3) Cariot

ご利用の目的に応じて、拠点の表示方法を変更することができます。

①地図を広域表示している場合は、拠点をグルーピングして、狭域表示している場合は、各拠点を表示したい場合



\* 3つのチェックをオン



広域表示

狭域表示

②地図を拡大／縮小に関わらず、常にすべての拠点の位置をプロットしたい場合



\* [拠点の位置をアイコンで表示] のチェックをオン



## (2) ルート : 編集画面から取引先へ遷移

### ■ 課題 (要望)

- 取引先から登録した拠点について、取引先の詳細画面に遷移できるようにしたい。

### ■ 改善点 (対応内容)

- ルートの編集画面から、関連する取引先の詳細画面に遷移できるように変更しました。

取引先から選択

[取引先から選択] ボタンから登録した拠点は、取引先に遷移するためのボタンが表示されます

ボタンをクリックすると新しいタブで取引先の詳細画面が開きます

取引先  
お客様A

種別 電話

関連 詳細

この取引先の重複の可  
重複ルールが有効化されていま

取引先責任者 (0)

# (3) [P060\_滞在記録] レポートに「所要時間」と「開始」の項目を追加

## ■ 課題 (要望)

- 登録した拠点での滞在時間をわかりやすくするために、[P060\_滞在記録] レポートに、「所要時間」「開始」「終了」の項目を並べて表示してもらいたい。

## ■ 改善点 (対応内容)

- [P060\_滞在記録] レポートをもとに、新規に [P060\_滞在記録\_01] レポートを追加し、「所要時間」「開始」の項目を追加して、項目の並びを変更しました。

レポート: 車両が関連する活動 P060_滞在記録_01							
合計レコード数 388							
<input type="checkbox"/> 日付 ↑	<input type="checkbox"/> ドライバー ↑	<input type="checkbox"/> 車両: 車両名	<input type="checkbox"/> 件名	<input type="checkbox"/> 所要時間(分)	<input type="checkbox"/> 開始	<input type="checkbox"/> 終了 ↑	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 2019/05/24 (34)	Cariot運輸 細川 貴洋 (5)	第一営業部 2号車	第一営業部 2号車 宝町駅: 滞在	80	2019/05/24 11:51	2019/05/24 13:11	
		第一営業部 2号車	第一営業部 2号車 宝町駅: 滞在	80	2019/05/24 14:17	2019/05/24 15:37	
		第一営業部 2号車	第一営業部 2号車 宝町駅: 滞在	80	2019/05/24 16:44	2019/05/24 18:04	
		第一営業部 2号車	第一営業部 2号車 宝町駅: 滞在	80	2019/05/24 19:10	2019/05/24 20:30	
		第一営業部 2号車	第一営業部 2号車 宝町駅: 滞在	80	2019/05/24 21:36	2019/05/24 22:56	

Cariot Ver2.19 へのアップグレード後、以下の 2 つのレポートが一覧に表示されます。  
必要に応じて古い [P060\_滞在記録] レポートを削除してください。

- ・ 「P060\_滞在記録」
- ・ 「P060\_滞在記録\_01」 ← 新しく追加したレポート

以下のページからインストールを行ってください。

<https://login.salesforce.com/package/installPackage.apexp?p0=04t0K000001Rt1I>

アップグレード CariotCore  
コメント作成者 Cariot/パッケージ開発組織

現在の Cariot バージョン

これからインストールしようとしている Cariot バージョン

以前のバージョンがインストールされています。既存のデータを保持したままアップグレードできます。  
インストール済み: 2.14 (2.14)    新しいバージョン: 2.14 (2.14)

1

2

アップグレード    キャンセル

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
CariotCore	Cariot/パッケージ開発組織	2.14	2.14

その他の詳細    コンポーネントを表示

1. [すべてのユーザのインストール] をクリックします。

2. [アップグレード] ボタンをクリックします。

(補足)

## Cariot Ver2.19 のアップグレード に失敗する場合の対応方法

# Cariot 2.19 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (1/7)

以下のようなメッセージが表示されて Cariot 2.19 のアップグレードが失敗する場合は、次ページ以降の操作をお試しいただき、デバイスオブジェクトの [活動を許可] チェック ボックスをオンにした後に、再度 Cariot 2.19 のアップグレードを実行してください。

パッケージ "CariotCore 2.15" のインストール要求は正常に処理されませんでした。salesforce.com 組織内のデータまたは設定情報への影響はありません。

インストールが何度も失敗する場合、通常の方法で Salesforce CRM カスタマーサポートにお問い合わせいただき、次の情報をお知らせください。

組織: Cariotフレクト実車セールス環境 (00D280000014TC0)

ユーザ: セールスLEX フレクト (0050I000008A0Ut)

パッケージ: CariotCore (04t0K000001AASR)

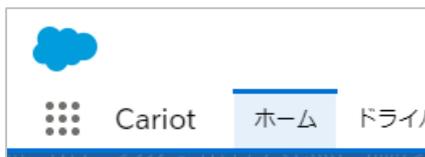
エラー番号: 742989889-765085 (658179458)

問題:

1. (LightningDeviceRecordPage) Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot\_\_Device\_\_c] LightningDeviceRecordPage: Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot\_\_Device\_\_c]

## LEX ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 11 ページから 13 ページをご確認ください。

## Classic ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 14 ページから 16 ページをご確認ください。

# Cariot 2.19 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (2/7)

## 操作手順 (LEX)



1. 画面 右上の歯車のアイコンをクリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックします。



2. 画面 上部の [オブジェクト マネージャ] をクリックします。

# Cariot 2.19 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (3/7)

## 操作手順 (LEX)



設定 オブジェクトマネージャ	
49+ 件の項目 (表示ラベル順)	
スコアカード	Scorecard
スコアカード割り当て	ScorecardAssociation
スコアカード総計値	ScorecardMetric
<b>デバイス</b>	Cariot__Device__c

3. 画面を下方向にスクロールし、[デバイス] をクリックします。



設定 > オブジェクトマネージャ デバイス	
<b>詳細</b>	詳細 <span>編集</span> <span>削除</span>
項目とリレーション	説明
ページレイアウト	
Lightning レコードページ	API 参照名 Cariot__Device__c
ボタン、リンク、およびアクション	レポートで使用する ✓
コンパクトレイアウト	カスタム ✓
	表示ラベル(単数形) デバイス
	活動の追跡 ✓
	項目履歴管理

4. 画面右上の [編集] ボタンをクリックします。

# Cariot 2.19 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (4/7)

## 操作手順 (LEX)



設定 > オブジェクトマネージャ  
デバイス

レコード名 | デバイス名 | 例: 取引先名

データ型 | テキスト

**追加の機能**

- レポートを許可
- 活動を許可
- 項目履歴管理

**オブジェクトの分類**

これらの設定が有効になっている場合、このオブジェクトは Enterprise Application オブジェクトとして分類されます。これらの設定が無効になっている場合、このオブジェクトは Light Application オブジェクトとして分類されます。 [詳細はこちら](#)。

- 共有を許可
- Bulk API アクセスを許可
- ストリーミング API アクセスを許可

**リリース状況** [ヒント](#)

- 開発中
- リリース済み

**検索状況**

この設定が有効になると、ユーザは検索時にこのオブジェクト種別のレコードを検索できます。 [詳細はこちら](#)。

- 検索を許可

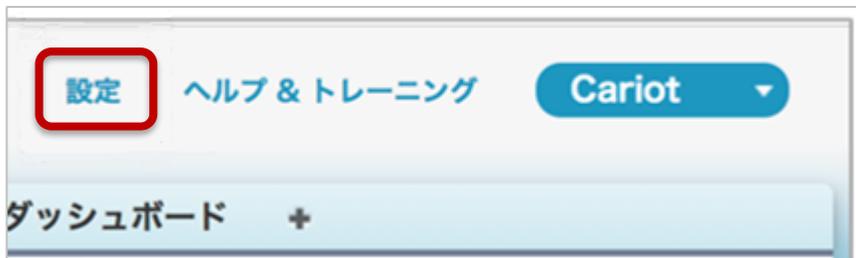
**保存** | 保存 & 新規 | キャンセル

5. 画面を下方向にスクロールし、[追加の機能] セクションにて [活動を許可] チェックボックスをオンにし、[保存] ボタンをクリックします。

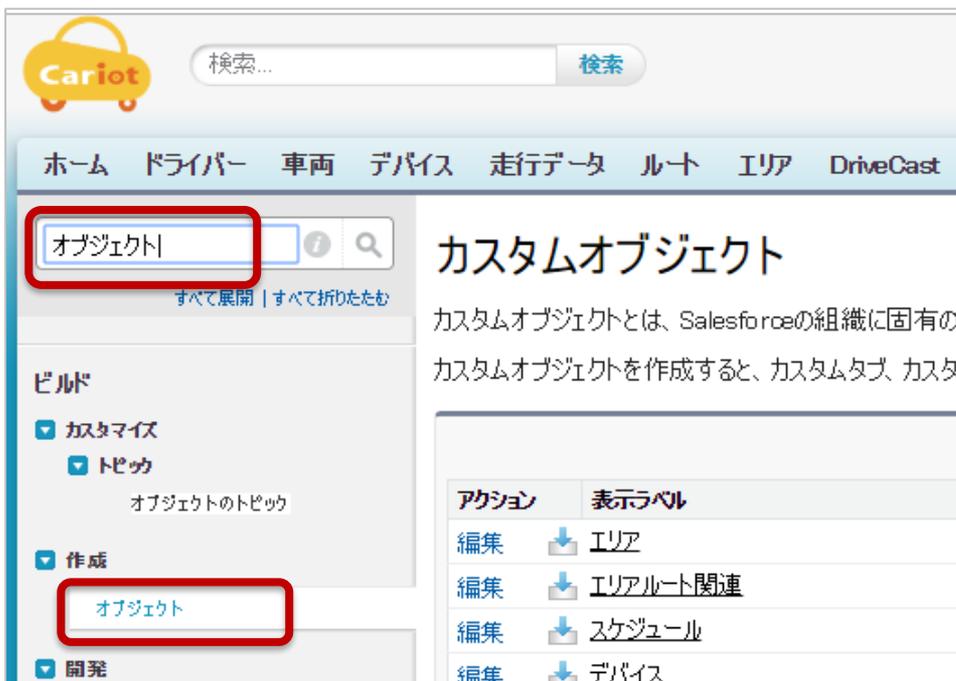
6. Cariot 2.19 のアップグレードをお試しください。

# Cariot 2.19 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (5/7)

## 操作手順 (Classic)



1. 画面 右上の [設定] をクリックします。



2. 画面 左上の検索ボックスに「オブジェクト」と入力し、検索を実行します。  
次に、[作成] の配下にある [オブジェクト] をクリックします。

# Cariot 2.19 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (6/7)

## 操作手順 (Classic)

### カスタムオブジェクト

カスタムオブジェクトとは、Salesforceの組織に固有のデータを保存できるデータベース機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム関連リスト、レポート、ダッシュボードデータにアクセスすることも可能です。

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	カスタムオブジェクト
編集	エリア	CariotCore	
編集	エリアルート関連	CariotCore	エリア、ルート
編集	スケジュール	CariotCore	
編集	デバイス	CariotCore	

3. 一覧から [デバイス] をクリックします。

カスタムオブジェクト  
デバイス (管理)

このカスタムオブジェクトの定義は管理されています。つまり、

標準項目 [0] | カスタム項目 & レレーション [0] | 入力規則 [0] | ボタン、リンク、およびアクション [10] | レコードタイプ [0]

カスタムオブジェクトの定義の詳細

表示ラベル	デバイス	編集
オブジェクト名	Device	
名前空間プレフィックス	Cariot	
API 参照名	Cariot_Device_c	

4. [編集] ボタンをクリックします。

# Cariot 2.19 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (7/7)

## 操作手順 (Classic)

カスタムオブジェクトの定義の編集

保存 保存 & 新規 キャンセル

### カスタムオブジェクトの情報

タブ、レイアウト、レポートなどで表示される表示ラベルです。  
名前または表示ラベルを変更すると、既存のインテグレーションと差し込みテンプレートに影響  
表示ラベル | デバイス

オブジェクト名は、API 経由でオブジェクトを参照する際に使用されます。  
オブジェクト名 | Device 例 Account

説明

カスタムヘルプの設定

Salesforce 標準の [ヘルプ & トレーニング] ウィンドウを開く  
 Visualforce ページを使ってウィンドウを開く

コンテンツ名 | ---なし---

### レコード名の表示ラベル型を入力

レコード名は、ページレイアウト、主要なオブジェクト、関連リスト、ルックアップ、検索結果で表示  
「取引先名」になり、ケースでは「ケース番号」になります。レコード名の項目は、API 経由で参照  
レコード名 | デバイス名 例 取引先名

データ型 | テキスト

### 追加の機能

レポートを許可  
 活動を許可  
 項目管理  
 Chatter グループ内で許可

5. 画面を下方方向にスクロールし、[追加の機能] セクションにて [活動を許可] チェックボックスをオンにし、[保存] ボタンをクリックします。

6. Cariot 2.19 のアップグレードをお試しください。